東北６県と整備局が創る
河川・ダム・砂防・海岸事業の新たな連携
「個性の大地」

第２２号（平成１９年１０月）
東北地方整備局河川部
地域河川課　発行

低気圧・前線に伴う豪雨　東北北部に大きな被害

９月１６日夕方から１７日にかけ､停滞した秋雨前線と温帯低気圧に変わった台風１１号に台風１２号からの湿った空気が流れた影響で、東北地方の北部を中心に大雨となりました。

大雨は秋田県、岩手県を中心に、多いところでは 300㎜ を超え、９月の月間雨量を上回る観測所もありました。この大雨により、米代川では既往最高水位（S47.７月洪水）を上回る洪水となり、北上川では戦後最大のカスリン台風（S22.９月）時を上回る降雨規模となる記録的なものとなりました。

この出水により、直轄は３水系５河川で、また補助河川では青森県、岩手県、秋田県の３県１１河川で被害が発生しましたが、各地における早期の避難勧告、土砂災害警戒情報の発表（３県３４市町村に発表）等により、人的被害の軽減が図られました。



米代川（能代市）



北上川（一関遊水地）

主な被害状況

県名			青森県	岩手県	秋田県	計
人的被害（人）	死者				1	1
	行方不明			2	1	3
	負傷者	重傷			1	1
		軽傷			4	4
住家被害（棟）	全壊				1	1
	半壊				18	18
	一部損壊			3	3	6
	床上浸水			87	498	585
	床下浸水		1	353	663	1,017
非住家被害（棟）	公共施設				75	75
	その他			108	1,025	1,133
災害本部	都道府県			1	1	2
	市町村		3	30	14	47

※青森県被害状況は平成１９年９月１９日１０時００分現在（防災消防課）情報である
※岩手県の被害状況は平成１９年９月２０日１６時００分現在（総合防災室）情報である
※秋田県の被害状況は平成１９年９月３０日１５時００分現在（災害対策本部）情報である

トピックス

東北６県・仙台市からの情報

『平成１９年度災害実務者研修会（模擬査定演習）』開催　【07/12～13】

青森県

青森県では、毎年、県及び市町村職員の災害実務担当者を対象に災害復旧事業の迅速かつ円滑な執行に努めるとともに担当職員の能力及び意識の向上を図ることを目的として、『災害実務者研修』を実施しています。

今年度は、試みとして、若手職員を対象とした「模擬査定演習」を加えて、平成 19 年 7 月 12 日（木）から 13 日（金）に八戸市において開催しました。

１日目は「災害実務の流れ」と題して発災から査定までの諸手続きとその対応等についての説明と意見交換。２日目には１８年災の被災現場である馬淵川において、現地調査から被害報告、現地測量、復旧計画、査定設計書作成までを行い、その後、各グループが復旧延長、工法等の考え方を発表し、査定官及び立会官役より厳しい質問が出されました。

また、１日目の夜には『懇親会』を催して夜遅くまで意見交換を行ったところです。

【講義】



【現地測量・調査】



【設計書・図面作詞】



【申請工法等発表】



よいよ運用開始！秋田県土砂災害警戒情報！【08/31～】

【秋田県】



秋田県では、平成 19 年 8 月 31 日より秋田地方気象台と連携して、土砂災害警戒情報の運用を開始しました。この情報は、大雨により土砂災害の発生する危険性が高まった時や恐れがある時に県内 24 市町村を対象として発表され、市町村長が発令する避難勧告や住民の自主避難の目安となります。また、県のホームページ上では県内を 5Km 四方のメッシュに区切り、より詳細な情報を提供して避難勧告等の判断の支援をします。

運用開始の直前、システム調整や操作確認等を行う施工期間に大雨が降り、市町村や消防に対して実際に土砂災害警戒情報を流すなど、本番さながらの場面がありました。

遠野第二生活貯水池（遠野第二ダム）起工式【06/21】

岩手県

遠野第二生活貯水池は岩手県遠野市を流れる猿ヶ石川の支川来内川に建設中のダムです。

本ダムは平成２年に建設採択された後、平成１５年３月に洪水吐トンネルに着手、平成１９年３月にダム本体工事に着手しています。

本年６月２１日には、ダム本体工事の起工式を執り行いました。

式は、主催者である県土整備部河川港湾担当技監、地元の本田遠野市長を始め多数の出席者が見守る中厳粛に進められました。

ダム本体工事は、平成１９年度は基礎掘削を行い、平成２０年度から本体コンクリート打設を行い、平成２２年度にダム事業が完成する予定です。





『うつくしまの川・サポート制度』

～個性と魅力ある「川の空間」の創造～「ともに考え、ともにつくる川づくり」

福島県

福島県では、地域の方々が「川」をもっときれいにしようという気持ちから行われる、河川美化などのボランティア活動を河川管理者が支援する取り組みとして、平成１３年度より「うつくしまの川・サポート制度」を行っております。

この制度は、地域の方々が行う、河川の清掃、美化活動に対して、市町村と県がゴミの回収・処理や清掃用具の貸与などを行うものであり、川を慈しむ心を育て、地域にふさわしい川づくりを進めるものです。

平成１９年４月１日現在、県内各地で２９団体が参加しており、地域の方々とともに、個性と魅力ある「川の空間」の創造を図っております。

【活動状況】

一級河川　阿武隈川水系　谷津田川

白河市環境美化運動連絡協議会（白河市）



【ＰＲ看板】

一級河川　阿武隈川水系　安達太田川

とうわ奥入瀬守る会（二本松市）



土砂災害写真パネル展を開催しました！【9/3～7】～　NPO との協働　～

岩手県

土砂災害は毎年全国各地で発生し、私たちの生活に大きな被害を与えています。岩手県においても、過去 30 年の間に約 400 件の土砂災害が発生しており、近年では平成 14 年に釜石市松原地区で発生した土石流により、二人の尊い人命が失われています。

今回の災害写真パネル展（９月３日～７日　県庁１階県民室で開催）は、県内外で発生した土砂災害や防災関係機関の取り組み等を紹介し、一人でも多くの方々に防災に対する理解と関心を持っていただくことを目的として「ＮＰＯ法人防災ネットいわて」と協働で開催したものです。

今後も防災に対する県民の意識高揚を図るため、「土砂法」「土砂災害警戒情報」「県の支援事業（住宅移転支援事業等）」等について広くＰＲしていきたいと考えています。



土砂災害防止講演会の開催【6/11】

青森県

青森県では６月の土砂災害防止月間の一環として県及び市町村の防災担当者を対象に「土砂災害防止防止講演会」を開催しています。本年は、本省砂防計画課補佐巖倉氏に「土砂災害防止法と安全な地域づくり」を、青森地方気象台土砂災害予報官渡邊氏に「運用開始した土砂災害警戒情報」について講演していただきました。



巖倉啓子氏



渡邊好範氏

カスリン・アイオン台風 60 年
～洪水写真パネル展を開催～【7/3～8/30】

岩手県

岩手県では、昭和 22 年 9 月のカスリン台風、昭和 23 年 9 月のアイオン台風により、北上川とその支川が氾濫し、2 年連続の大水害に見舞われました。

今年カスリン台風による水害から 60 年の節目の年を迎えるにあたり、当時の水害を風化させず後世に伝え、災害に強い地域づくりを考える機会とするため、カスリン・アイオン台風 60 年事業実行委員会を組織し、様々な事業を行っております。

この事業の一環として、当時の被災写真や工事状況の写真、新聞記事等による「カスリン・アイオン台風 60 年　洪水写真パネル展」を 7 月 3 日（火）～8 月 30 日（木）にかけて、岩手県内 14 の地方振興局等を巡回し、開催しました。パネル展開催中は展示内容の照会もあり、関心の高さを感じました。



≪遠野市内商業施設での開催の様子≫

整備局の動き

【連絡事項】

①災害関連緊急砂防等事業 採択状況【地域河川課】

■山上清水 地すべり（宮城県仙台市青葉区八幡）

事業費　41,760 千円【採択日 H19.8.7】

■追久保　地すべり（宮城県白石市小原字追久保）

事業費　590,400 千円【採択日 H19.8.7】

②完了検査について【水政課】

補助事業の完了検査は、補助事業の成果が補助金交付の決定の内容及びこれに附した条件に適合するかについて調査するために行っています。今年度も平成１８年度完了事業を対象とし、下記日程で実施及び実施予定です。効率的な検査が実施できますようご協力の程をよろしくお願いします。

９月１１日（火）～　９月１４日（金）・・・・青森県
９月１８日（火）～　９月２３日（木）・・・・岩手県
１０月　９日（火）～１０月１２日（金）・・・・宮城県
１０月２３日（火）～１０月２６日（金）・・・・山形県
１０月３０日（火）～１１月　２日（金）・・・・秋田県
１１月１９日（月）～１１月２２日（木）・・・・福島県

※下線は完了検査実施済み

③地域河川課のスタッフ　７月１日現在【地域河川課】

谷田地域河川調整官　(M3517)
國松地域河川課長　(M3811)

高橋課長補佐	清水野係長(M3821)、矢倉(M3822)	総括、補助河川事業関係
	三浦係長(M3826)	補助ダム事業関係
田中建設専門官	清水野係長、矢倉	補助海岸事業関係
	川口係長(M3827)	補助砂防事業関係

下線が今年度の新メンバーです。

編集後記

４月１日付けで、整備局編集員が異動になり不慣れなところもありＨ１９年度の「個性の大地」の発刊が遅れてしまいました。今年は、災害が多く発生しております。台風シーズンは未だ続くため、気を引き締めていきたいと思っております。

これからも、地域の話題、新たな取り組み、技術紹介等の積極的な投稿をお待ちしております。